

流では、そば（農業）と焼酎（酒造関連企業）を結びつけた福島県の「プロジェクト21」が全国的に有名だが、1次産業を巻き込んだものはまだそれほど活発ではない。政策による手当ての余地はかなり残されている領域である。この異業種交流をさらに発展させ、特定の地域で特定分野の関連企業や大学などの関連機関が協力して相乗効果を生み出すような連携関係を構築したものがいわゆる「産業クラスター」であり、1次産業についても「食品産業クラスター」や「木材産業クラスター」などを展望することができる。こうした産業政策についての検討は今後の課題である。

（成否を決定するのは何か一人が動く時代の競争戦略―）

地域活性化戦略の成否を握るのは何か。研究者はこれを明らかにするためにさまざまな因果関係の検証を行っているが、最終的に行き着くのは「人」の問題になってしまう。何も結論を出すことから逃げているわけではない。筆者の研究に引き付けていえば、同一市町村内の、全く同じ自然的・地形的条件にある、兼業条件も人口規模も年齢構成も同じような隣同士の集落であっても、片方が集落営農の組織化に成功し、婦人グループが農産加工に取り組み、道の駅に直売所を出店しているにもかかわらず、もう片方の集落はそうした動きが全くみられないということがしばしばだからである。その客観的な原因を探るのは「玉ねぎの皮むき」ではないかという筆者の率直な思いがそこにはある。

それはともかく、佐藤氏が紹介したオーストラリアのマレニーの事例でも活性化の原動力となったのは都市から移住してきた若い世代であったことに想いを致すべきだろう。若い世代のやる気を引き出し、地域活性化の主役としてはたらいてもらうかが成否の鍵であり、そうした人材がない場合は地域の魅力を高め、人を引き寄せることが地域活性化戦略となるのである。それには月並みだが「UIJターン」の促進が有効である。そして、京都府美山町の事例を持ち出すまでもないが、そのポイントとなるのは「農山漁村の美しい景観」であり「新鮮な空気、水」であり、「自給的なライフスタイル」なのである。

雇用創出という条件整備が「UIJターン」に先行するのではない。むしろ、その地域を気に入って移住してきた人たちがそこで仕事を起こし、雇用を創出するのである。つい最近まで農村の過剰人口に悩まされてきた日本では想像もつかないが、人口密度が希薄な新大陸では極端な言い方をすれば、いまや街に人が移動するのではなく、人が移動して集積した結果が街となるという事態を迎えている。それに拍車をかけたのがIT社会の深化である。いささか高度な専門職業人に話が偏っているきらいはあるが、人に仕事が付いているため、そうした人を集めること、すなわち新たなビジネスの創出という関係になるからである。それゆえ地域における産業政策は、生活環境整備や地域のイメージアップによる人口誘致とイコールなのである。こうした極端な状況を日本が迎えるとは俄かには考えられないが、人口減少社会の下での地方自治体の競争戦略は大きく転換していくことだけは間違いないように思う。

注：

- (1) 安東誠一『地方の経済学―「発展なき成長」を超えて―』日本経済新聞社（1986）、20頁。本稿における「地方の時代」を「演出」した地方の経済構造の把握は専ら同書に依存している。
- (2) 前掲注（1）、94頁。また、安東氏は「地方の住民は、自らの労働力によって生み出し、そして全国的な生産体系のネットワークによって逃げていく価値の一部を、財政資金として取り戻すことは可能だが、そしてそのことによって所得の上昇―成長―は可能だが、生産活動に成果を地域内で自らの意思によって蓄えに結びつけ、生産力を拡大させる機会―まさにこれが発展の機会である―を手に入れることはできないのである」として、この時代の地方経済を「発展なき成長」のメカニズムとして説明している。同書93頁参照。
- (3) 前掲注（1）、129頁。
- (4) 藻谷浩介「工業振興だけで経済を支えられる時代は終わった」『エコノミスト』2006年4月25日号、96～97頁。藻谷氏が同誌に連載している「実測！ニッポン経済」は毎回、分かりやすい図とそこから読み取れるポイントを的確に示しており、非常に参考になる。既に刊行されている号に収録されている論考では各県・地域ごとの特性を析出しており、地域政策を論じるに際しては必読の資料といえるだろう。
- (5) 山口義行『誰のための金融再生―不良債権処理の非常識―』筑摩書房（2002）、同『経済再生は「現場」から始まる―市民・企業・行政の新しい関係―』中公新書（2004）。
- (6) 「社会投資ファンド」については、西村清彦・山下明男編『社会投資ファンド―PFIを超えて―』有斐閣（2004）を参照されたい。また、農山漁村地域では地域密着型の事業・プロジェクトが